

# 全国中国語教育協議会準備会

ニューズレター 第2号 1997年5月27日発行

## 今秋の正式発足を目指して 準備会の活動がスタート

昨秋、全国の大学・高等学校・専門学校・民間各種教育機関で中国語教育に従事する者が集い、教育者相互の交流を深め、外国語科目としての中国語教育を確立し、その充実をはかるべく、全国中国語教育協議会準備会が発足した。この集まりでは、広く意見を求めて、今後の展開を考えることとなり、本年秋に予定される大会まで準備会として活動し、その間に会の名称・組織・運営について、成案を得ることとなった。

当面の活動方針案は、昨秋の大会報告とともに、96年12月20日発行のニューズレター第1号に掲載されているが、諸般の事情で予定より若干遅れたものの、このほど次のような今年度活動計画がまとまった。

- (1) 会報としてのニューズレターを年度内に4回以上発行する。第2号は、昨年末の第1号に同封した申し込み葉書で参加を希望された方々に郵送し、第3号以後は暫定会費(p.4参照)納入者に郵送する。
- (2) 会報発行と会員のPR活動によって、参加者の拡大を図る。ちなみに、昨秋大会の呼びかけ数は200余名、会報第1号配布は300余名、参加申し込みは約200名で、対象がなお狭い範囲にとどまっている。
- (3) 第1回中国語教員セミナーを8月に東京で開催する(p.2参照)。
- (4) 中国語教育に関する資料、情報を会員に随時提供する体制を整え、コピー資料頒布(p.4参照)や、別冊発行を含めて会報の充実を図る。

以上の各項目について、具体的な計画内容は今号の各面に掲載されているので、会員からの貴重なご助言とご支持をお願いしたい。

### 事務局開設のお知らせ

昨秋来、準備会の事務を仮連絡先で行っておりましたが、新年度から下記に事務局を設けました。なお、事務担当者が非常勤のため、勝手ながらお問い合わせ・ご連絡等はすべて郵便でお願いいたします。

〒156 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国文学研究室内 全国中国語教育協議会

## 第1回中国語教員夏季セミナー開催案内

中国語学習者の増加にともない、教科書・参考書の出版は花盛り、なかでも初級テキストは百花繚乱の様相を呈している。学力判定テストも次々に名乗りをあげる情勢にある。しかし、肝心の教育内容の検討や教員研修等には積極的な取り組みが見られない。このままでは、やがて学習者が他の外国語学習と引き比べ、不満をもらすことであろう。なによりも、いま中国語教育界はその教育方法や内容の質的向上を図らねばならない。今後中国語教育協議会は教員の研修セミナーを最優先の事業としたい。

- 日 時 平成9年8月20日(水)～23日(土) 計4日間(日程は別表)
- 会 場 日本大学文理学部(東京都世田谷区桜上水3-25-40)
- 参加費 18,000円(配布資料、茶話会費用等も含む、事前に納入)
- 参加資格 中国語教育協議会会員で、中国語を母語としない者を優先する。  
4日間通して参加する者。事前提出テープで実地指導も受ける。
- 申込方法 往復葉書に所属・氏名・年齢・教歴を記入、事務局へ申し込む。  
6月20日(金)消印まで受け付け、定員超過の場合は運営委員で選考する。その場合、定員の半数は大学、半数はその他に所属する教員を優先する(必要あれば所属長あての依頼状を送る)。
- 定 員 30名(会場の都合で増員はできません)。参加の可否は6月末までに申し込み者へ通知する。その後、指定の方法で参加費が事前納入されてから、詳細案内を郵送する。宿泊斡旋はしない。
- 講 師 北京大学中文系教授 陸儉明氏(今年度は姫路獨協大学出講)  
日本人学生の誤用から見た中国語文法の諸問題〔仮題〕  
北京大学中文系教授 馬 真氏(陸教授夫人)  
日本人学生の誤用から見た中国語語彙の諸問題〔仮題〕  
北京語言文化大学助教授 李 明氏(現在、東京外国語大学出講)  
日本人の中国語発音の問題点と指導法〔仮題〕  
東京外国語大学客員教授 孫玄齡氏(岩波《中国の音楽世界》著者)  
中国語の話し方と朗読法〔仮題、参加者の実地指導を含む〕  
日本大学教授、東京外国語大学名誉教授 輿水優氏(運営委員)  
中国語の試験問題と学力評価〔仮題〕

第1回中国語教員夏季セミナー日程表(平成9年8月20日～23日)

20日 (水)		12:30 受付	13:00～13:10 開講式	13:20～14:50 陸教授講義	15:00～16:30 陸教授講義
21日 (木)	10:00～11:30 興水教授講義	昼 食	12:40～14:10 馬教授講義	14:20～15:50 馬教授講義	16:00～16:50 茶話会(1)
22日 (金)	10:00～11:30 李教授講義	昼 食	12:40～14:10 李教授講義	14:20～15:50 孫教授講義	16:00～16:50 茶話会(2)
23日 (土)	10:00～12:00 孫教授(実地指導)		12:10～12:15 修了式		

◆セミナー余録◆

初めての教員研修会であり、また将来は教育委員会をはじめ公的機関等との連携も図りたい、と考えているので、講師と講義内容を中国に研究留学した場合と同等以上、国内最高レベルになるよう配慮した。研修内容は今後さらに多方面のテーマを設けるので、ご要望やご意見をお寄せいただきたい。幸い、今回は北京大学の陸俊明教授、馬真教授をはじめ、著名な先生方の協力を得ることができた。奮ってご参加賜りたい。

今回のセミナーの泣き所は定員の少ないことである。参加者を増せば費用の負担は減少するはずだが、会場経費は増加する。研修会の進行に便利で負担の少ない場所を選んだ。参加費は諸経費を積算した実費である。係員は手弁当であることを一言。今後、土曜利用の研修も考えたい。

☆☆ 協議会告知板 ☆☆

本年度大会 は下記日程で開く。

平成9年10月24日(金)午後2時

会場：東海大学湘南校舎

詳細案内は次号ニューズレターでお知らせする。この大会では協議会の正式発足を目指し、組織・運営に関して、とくに活動計画について話し合いたい。新規参加の方が増えるよう、呼びかけていただきたい。

なお、本大会の翌日から2日間、10月25、26日は同じ会場で日本中国語学会全国大会が開催される。会員外でも参加費を負担すれば出席可能。

会報(ニューズレター)の今年度発行予定は、第3号を8月末(セミナー報告特集)、第4号を11月末(大会報告特集)、第5号を年度末(新年度活動計画)、ほかに研究集録の別冊も企画。組版印刷は年度内に改善する。

## 会費納入のお願い

本会の諸経費は、これまで発起人のカンパに頼っていましたが、新年度から準備会の活動に参加申し込みをされた方々に実費(通信費+事務費)をご負担いただくことになりました。今年度(平成9年4月～平成10年3月)の暫定会費として、同封の振込用紙により金2千円をご送金ください。なお勝手ながら、振込料金を各位にご負担いただきます。郵便局の受領証で領収書に代えることとし、事務局からの受領通知は省略いたします。今秋の大会で協議会が正式発足し、会費の規定が設けられた後は、その定めに従います(その場合、暫定会費納入者には経過措置を考える予定)。全国中国語教育協議会 郵便振替口座 00120-0-364168

### ★★ 中国語教育・情報ファイル ★★ ⇄⇄ 資料提供のお知らせ ⇄⇄

去る1月実施の大学入試センター試験に初めて出題された中国語に関するデータと比較資料は以下の通り。

	受験者	平均点
英語	548,574	137.42
ドイツ語	168	118.98
フランス語	182	122.87
中国語	243	130.54

(外国語は200点満点)

なお、追試験には中国語で受験した者がいなかった。

97年センター試験の中国語問題をご覧になりたい会員に実費でコピーをお送りいたします。本試験の問題は内山書店発行《中国語》4月号にも掲載されていますので、下記A・Bのいずれかを指定の上、80円切手8枚を事務局にご郵送ください。6月15日まで受付ます(会員のみのみ)。  
A 本試験+追試験(正解つき)  
B 追試験のみ(正解つき)  
[問題に対するご感想等の投稿歓迎]

全国中国語教育協議会準備会 会報《ニューズレター》編集・発行

(事務局)〒156 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国文学研究室内 全国中国語教育協議会

【暫定運営委員】(50音順) 荒屋勸(大東文化大学) 今西凱夫(日本大学) 榎本英雄(明治学院大学) 大河内康憲(大阪外国語大学) 桑山哲郎(関西高校) 輿水優(日本大学)[代表] 小寺研(大東文化大学第一高校) 中野貞弘(兵庫県立神戸商業高校) 中野達(國學院大学) 西川優子(中国語教育研究会) 平井勝利(名古屋大学) 吉田隆司(日中学院)

全国中国語教育協議会準備会《ニューズレター》第2号

P. 4